

冬に多い病気

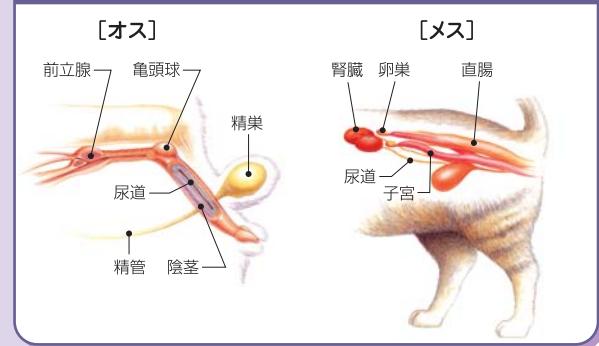
泌尿器疾患

他の季節に比べて水を飲む量が減る冬に多いのが、泌尿器の疾患です。ワンちゃん、ネコちゃんともよく起こる病気ですが、特にオスのネコちゃんにとても多い病気です。

今回はオスのネコちゃんの下部泌尿器症候群についてお話しします。この病気は、尿をためておく膀胱や、尿を体外へ排泄する尿道に異常が起きたことをいいます。

この異常を起こす原因で多いのは、結石(石ころ)です。

—ネコちゃんの泌尿器—



メスのネコちゃんでもこの病気は起りますが、オスよりも尿道が短いので、オスほど重篤ではないことが多いです。

特徴・症状

- 何回もトイレに通うが、尿が少ないか出ない。(よく『便秘です』と来院されることが多い。)
- トイレで長くさかばったりする。
- ポタポタ尿が漏れ、血が混じっている。
- お腹を痛そうにして、元気がない。
- 嘔吐する。

治療

- お腹を触って硬くなった膀胱が確認されたら
- すぐに膀胱の中の尿を抜く必要がある。
 - 膀胱に特殊な小さいカテーテル(管)を挿入する。
 - 点滴などを輸液しながら水分補給をする。
 - 尿の成分を分析する。
 - 止血剤、抗生剤などを投与する。

飼い主さんができる予防と管理

- 結石予防の食事を与える。
- トイレをきれいにしておく。
- ストレスを少なくしてあげる。
- 外で排尿するネコちゃんは難しいが、できるだけ尿量をチェックする。

ワンちゃんの場合は、飼い主さんが塞さたため散歩を怠りがちになりますが、トイレを我慢せないようにしましょう。

この病気は、発見が遅ると尿毒症になり、死につながるとしても恐ろしい病気ですので、早期発見を心掛けましょう。

エキゾチック
コーナー

今回号よりエキゾチック動物(ハムスター、うさぎ、フェレット、モルモットなど)のお話を少しほりていきます。



ハムスター

最近、ハムスターを飼う方が増えています。しかし購入してすぐに下痢や風邪で来院されることが多いです。今回はハムスターを選ぶ時のチェック点をお話します。

- ①夕方以降にペットショップに行くこと。
夜行性のハムスターは日中寝ていることが多いので、活動時間でのハムスターの動きを見るため。
- ②お尻が汚れていないか(下痢)、鼻水が出ていないか(風邪)、毛づやがよいか(栄養状態)の健康チェック。
- ③ハムスターゲージがきれいに掃除されているか。(ペットショップの選択)

以上のこと、少しでも心掛けていただければ良いと思います。



ニュースレターは、年2回予定しています。
よいお写真が撮れたらもってきて下さいね!



平成15年11月より下記の場所に移転になりました。

■当院からのお知らせ

エキゾチック診療(ウサギ、フェレット、ハムスター、モルモット)は予約診療となります。来院前に必ず電話でご確認下さい。

診療時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
	AM 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	/	●
PM 4:00~ 7:00	●	●	●	●	●	●	●	/	

*時間外・往診は電話にて確認して下さい。

[時間外緊急診療のお知らせ]

当病院の通常の電話(0533-80-3636)にご連絡下さい。電話が繋がれ留守番電話になりますので、お名前、ご用件、お電話番号を必ずお入れ下さい。こちらから折り返しご連絡いたします。



いしごろ動物病院

〒442-0033 豊川市豊川町辺通36-2

TEL&FAX
0533-80-3636

いしごろ
動物病院

Animal News

第5号



- 院長のメッセージ
- 皮膚病
- What 動物の病気
- ちょっとしたお話
- しつけのワンポイント
- エキゾチックコーナー